

平成21年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社スーパー大栄

代表者名 代表取締役社長 中山 勝彦

(コード番号 9819 福証)

問合せ先 取締役管理本部経理部長 阪本 博美

(T E L 093-602-2770)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月18日に公表した平成22年3月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	14,800	130	110	100	14.34
今 回 修 正 予 想 (B)	14,312	55	39	△105	△15.12
増 減 額 (B-A)	△487	△74	△70	△205	—
増 減 率 (%)	△3.3	△57.3	△64.1	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	14,664	100	76	47	6.85

(2)平成22年3月期通期業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	30,300	300	250	200	28.68
今 回 修 正 予 想 (B)	29,000	90	70	△70	△10.04
増 減 額 (B-A)	△1,300	△210	△180	△270	—
増 減 率 (%)	△4.3	△70.0	△72.0	—	—
(ご参考)前期通期実績 (平成21年3月期)	29,839	319	274	139	19.99

2. 業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間は昨年来の世界的な景気低迷で、日本国内も近年にない消費不況となり、小売業界におきましてもあらゆる業種において売上不振が続くなど、経営環境は非常に厳しいものとなりました。

このような状況の中、当社におきましては、これまで牽引役的存在であった生鮮ディスカウントの鮮ど市場グループの地域内に地場でも有力なディスカウントストアが新規出店したため、商圈内の数店舗が影響を受けたことや、例年にない7月の長雨のため、既存店の売上高が減少したことなどが響き、売上高は前回予想値を下回ることとなりました。また、売上高減少に伴い、営業利益、経常利益、四半期純利益も前回予想を下回る見通しとなりました。なお、四半期純利益につきましては、当期間に有形固定資産の減損処理をいたしましたので、前回予想値を大幅に下回る見込みとなりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。

通期につきましても、個人消費の回復の兆しはまだ見えず、今後も引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されますので、当第2四半期累計期間の業績予想を加味し通期業績予想を修正いたします。

3. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 発 表 予 想 (平成21年5月18日発表)	0.00	6.00	6.00
今 回 修 正 予 想	0.00	5.00	5.00
当 期 実 績	0.00	—	—
前 期 実 績 (平成21年3月期)	0.00	5.00	5.00

4. 配当予想修正の理由

当社は、利益配分については、株主への利益還元を重要課題と位置づけると共に、安定した配当を行うことを基本方針としております。

当期の配当金については上記の基本方針及び業績見通しを総合的に勘案した結果、1株当たり6円を予定していた期末配当を1株当たり5円に修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以 上